

■ 曾根東小学校 5 年生によるインタビューを受けて ～ 曾根干潟を守るために “自分たちにできる” ことは ? ～

11 月 19 日、曾根東小学校の 5 年生による曾根干潟を守るために活動している団体等へのインタビューに参加しました。

曾根東小学校では、3 年生から始まる“総合学習”の時間を活用して、学年に応じた環境学習を行っており、5 年生から曾根干潟をテーマにしています。

今回のインタビューは、曾根干潟を守るために活動している団体等の取組について把握し、曾根干潟を守るために自分たちにできることを考え、実践することを目的としているようです。

インタビューを受けたのは、曾根干潟を守るために活動している 9 つの団体や個人、自治体でした。

では、定量研が何故選ばれたのか・・・。

先生の話によると、曾根干潟で活動している団体等を把握するために、インターネットや保護者等へのアンケートを行った結果、その両方から定量研の名前があがってきたとのことでした。クリーン作戦への参加やパンフの寄付など、学校（先生）との関わりはありますが、児童主体で調べたようなので、HP や観察会の効果だと勝手に思っています。

ただ、話を聞きたい団体等を児童に選ばせる、と聞いた瞬間、団体名も活動内容も難しい定量研は「ゼロかも！」と思いましたが、4 人の児童が手を挙げてくれてホッとしました（笑）。

手を挙げてくれた児童に感謝！



インタビューでは色々な質問があったのですが、児童たちが“聞き逃してはいけない必須項目”は以下の 4 項目でした。

- A. 活動の内容（どんな）
- B. 活動の目的（何のために）
- C. 思いや願い（どうなってほしい）
- D. どんな協力をしてほしい



今回のインタビューにより、今後どのような活動を実践していくのか、楽しみです。

最後に、曾根東小学校の環境学習の取組に敬意を表するとともに、ゲストの話に熱心に耳を傾け、メモを取る児童たちには、今の純粋な環境への思いを持ったまま大人になって欲しいと思います。

